

日本のソーシャルレンディングの課題と展望（研究の成果発表（シニア（静岡大学情報学部Sプロジェクト）, 既発表））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-08-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 遠藤, 正之 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028349

日本のソーシャルレンディングの課題と展望

遠藤正之（静岡大学学術院情報学領域）

ソーシャルレンディングは、融資型クラウドファンディングとも言われ、貸し手と借り手を Web サイト上でマッチングするプラットフォームを提供するサービスである。低金利環境の中で、個人投資家のミドルリスクミドルリターンのニーズを満たすものとして、2017 年まで急速に成長していた。ところが、貸金業法の適用を受けることから、借入企業を匿名化する行政の指導があり、それを悪用する形で、資金流用や与信管理が不十分な案件が発生した。このため、サービス事業者の行政処分やそれに伴う募集停止もあり、2018 年以降、取扱額が激減している。本研究では、事例研究を元に、業界の課題と今後の発展可能性について検討する。

<既発表情報>

遠藤正之，“日本のソーシャルレンディングの課題と展望”，日本情報経営学会第 80 回大会予稿集，pp. 149-152，2020.